

いつ来るか分からない

災害への備え



—災害時外国人観光客支援からわかること—



2019
3 / 13
[Wed]

入場
無料

地震ハザードステーションによれば、今後30年間に震度6以上の揺れに見舞われる確率は、那覇市で40%とされています。

沖縄県は隣県と陸でつながらない特殊な県であり、増加する沖縄県民約145万人、増加する観光客年間約950万人、うち外国人約270万人に対する災害時の避難計画や病院における外国人受入れ体制等、発災初期段階の対応と事業継続計画は観光立県としての重要な課題であり、皆さんと共に考えて行きたいと思います。

14:00～16:00 ※開場 13:30 会場：沖縄県立博物館・美術館

プログラム

座長：久木田 一朗（琉球大学大学院医学研究科 救急医学講座 教授）

特別講演

「平時からのとりくみ、緊急時の対応」

Hori Narumi



堀 成美氏

（国立国際医療研究センター 国際診療部）
特任研究員

神奈川大学法学部、東京女子医大看護短大卒業。
民間・公立病院での看護師、国立感染症研究所 研究員、聖路加国際大学 教員を経て2013年より国立国際医療研究センターに感染症対策専門職として勤務。2018年8月より国際診療部 特任研究員。

シンポジウム

シンポジスト

神谷 大介 氏（琉球大学工学部工学科
社会基盤デザインコース 准教授）

根来 全功 氏（沖縄県国際交流・人材育成財団
国際交流課長）

大内 元 氏（琉球大学医学部附属病院
救急部・DMAT 隊員 特命講師）

山本 俊成 氏（琉球大学医学部附属病院
外国人患者受入に係るプロジェクトチーム）



主催 琉球大学大学院医学研究科 救急医学講座
共催：琉球大学国際地域創造学部観光地域デザイン科
琉球大学島嶼防災研究センター

お問合せ 琉球大学大学院医学研究科 救急医学講座
〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原 207
TEL：098-895-1197 FAX：098-895-1284